

令和7年度 農福連携セミナー開催要領

～ 誰もが輝ける地域づくり ノウフク×さがすたいる ～

1 目的

全国的にも農福連携の取組が注目される中、昨年度、「農福連携等推進ビジョン」が改訂され、地域単位での推進体制づくりや専門人材の育成と活躍の場の確保など一層の推進に向けた新たなアクションが示された。

本県においても、農福連携の取組が年々増加する中、県内での取組定着を図るためには、農業者や福祉事業所の理解促進と中間支援者や専門人材の育成が不可欠となっている。

そこで、全国的な農福連携の動向や他県の優れた取組について学び、県内の農家や福祉事業所、関係機関の取組意識や人材育成に関する機運の向上を図る。

2 主催 佐賀県（農業経営課及び就労支援室）

3 日時 令和7年7月17日（木）13:30～16:30 （12:30 受付開始）

4 場所 グランデはがくれ ハーモニーホール AB

5 参集範囲 農業者、福祉事業所、市町、JA、関係機関等

6 内容

	時間	内容
第1部	13:30	開会・あいさつ
	13:35～	【事例紹介①】 熊本福社会 理事長 奥野 靖夫 氏 農福連携の地域協議会を設立し、農業法人、JA 等と連携した地域ぐるみの取組を展開。
	14:00～	【事例紹介②】 株式会社今村製茶 今村 和也 氏 2020 年から農福連携に取り組む創業 60 年のお茶農家。「ノウフク JAS」認定を受ける（鹿児島県第二号）。
		休憩
第2部	14:35～	【事例紹介③】 大隅半島ノウフクコンソーシアム 事務局長 天野 雄一郎 氏 地域の農福連携実践団体をつなぐプラットフォームを設立、現在約 70 団体が加入。 農産物の付加価値向上、販売力強化等に取り組む。
	15:00～	【事例紹介④】 安芸市農福連携研究会 公文 一也 氏（元高知県職員） 「障害等の有無に関係なくすべての人が生きがいを持って自分らしく生活できる社会の実現」を目的に多機関連携の農福連携を実践。
		休憩（席の配置換え）
	15:35～	パネルディスカッション テーマ「佐賀県における農福連携の可能性」 事例紹介者4名と県内の農福連携に関わるパネラーによる広がりを見せる農福連携のこれからについてのディスカッション
	16:30	閉会